

## 第 12 回多可町就学前教育・保育検討委員会会議録

- 1 日 時：平成 23 年 7 月 5 日(火)15:00～17:00
- 2 場 所：キッズランドかみ 会議室
- 3 出席者：
- 委 員 鈴木委員、青山委員、有田委員、平位委員、安平委員、清水谷委員、  
西田委員、仲田委員、岡本委員、吉田委員、越川委員
- 事務局 教育長、藤本副課長、浦川

### 協議事項

- (1) 地域の実態や幼保一元化の流れを考慮した中区における将来の諸施設の適正配置について  
(まとめ)
- (2) 子育て支援のあり方について
- (3) 答申(案)について

委員長	地域の実態や幼保一元化の流れを考慮した中区における将来の諸施設の適正配置について事務局から説明願いたい。
事務局	(会議資料 P1～P5 に基づき、事務局案を提案。)
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委 員	小規模保育所は 60 人以下となっているが、何か具合が悪いことがあるのか。
委 員	子どもの人数によって、園の収入となる保育単価がちがう。そこで、職員の給与など必要経費をまかなうが、子どもの人数が減ると担任も減るが、園長や主任その他の運営経費がまかなえなくなり、毎日の保育で余裕がなくなる。また、45 人以下は単価自体がなく、ある程度のところまでいくと維持できなくなる。
委 員	50 人ぐらいが限度ということか。
委 員	小規模といえるのは 45 人以下だと思う。
事務局	子どもの人数が少なくなると単価が上がるが、安定的な経営が難しくなる。
委 員	年齢によって職員が異なるため、ある年には子どもの年齢構成によって、多めに職員を雇用しないといけない年もあり、子どもの人数が少ないほど苦しくなることもある。
委員長	私立保育所の子ども園化について、保育所は施設整備の準備ができているのか。
委 員	園の自前では難しいので、町側から何らかの支援をしてほしい。現状では 5 歳児がいけないことが前提の施設だったので、子ども園化により 5 歳児を受け入れるに当たってそれなりの物が必要になり、協力をお願いしたい。園によって状況は異なるが、5 歳児を受け入れるための運動施設や机などの整備が必要だし、認定子ども園化するには、子育て支援機能も必要となる。
委員長	自助努力をしてくださいます、と言われたら困るか。
委 員	困る。

委員	「認定子ども園」資料 P8 の「認定子ども園のタイプ」のうち、中区の場合は「保育所型」となる。保育に欠ける、欠けないに関わらず、どのような家庭であっても受け入れることができるようになる。また、同資料 P10 のように、私立保育所が認定子ども園になる場合には、国や県の補助制度もある。園で負担していただかないといけない部分もあるが、町としても、今後の話によってはさらに補助を行うことができるかもしれない。それに対して、公立の園が認定子ども園になる場合には、国や県の補助がない。また、同資料 P23 に保護者向けアンケートの結果があるが、ほとんどが認定子ども園に対して肯定的であり、今後の認定子ども園制度のあり方については、86.6%の方が推進していくべきと回答されている。認定子ども園制度によって、保育所の機能だけでなく、1つの園で全ての就学前教育・保育ができるようになる。委員の意見としては、できるだけ早く認定子ども園にして家庭の保育に欠けるか、欠けないかに拘わらず受け入れるようにしてほしい。
委員長	現在、国で制度設計されている、子ども園制度がどうなるのか、補助金がどれだけつくかわからない。そうである以上、現在の認定子ども園制度があるうちに、つまり、この1～2年のうちに移行した方がよいと思う。震災前の原案では平成 25 年度から子ども園制度が始まる予定となっていた。
委員	「認定子ども園」の資料が出たのはいつか。認定子ども園制度ができた平成 18 年度には、5 年後に法律を見直すと言う話になっており、今はそれに向けて法整備をされている。その時の資料だったら、アンケートにしても状況が変わっているのではないか。
委員	これは今年の6月に県で行われた説明会の資料で最新のもの。私立の所長さん方にも一緒に説明を聞きに行っていた。
委員	数年後に中町幼稚園が閉園されると、今いる職員の異動はうまくいくのか。
事務局	西脇市はそれまで公立だった園が私立になった際に、市の一般職員として相談業務に取り込んだ。場合によっては、話が合えば、民間に行って頂くか、町から私立保育所への派遣と言う形も考えられる。実際にはこれから協議していくことになる。
委員	近隣を参考にしながら、職員が選択できるようにする。公立園の職員は行政職として雇用しているので、行政職としての身分を保障する。その中で、本人の意思を尊重した上で、民間の保育所に行っていただくことも考えられる。
委員	中町幼稚園だけでなく、キッズランドかみ、キッズランドやちよも、正職員と嘱託職員が協力し合って働いているが、全員がそうなるのか。
委員	嘱託職員そのものは定員との関係できらざるを得ない。
委員	正職員については、中町幼稚園以外もあるので、他の園に異動することも考えられる。
委員長	西脇市などと同様に、正職員が、事務職となるか、私立の園に行くかを判断するのは、平成 35 年度頃に、公立で立ち行かなくなった時に起こりうる。
事務局	中町幼稚園の閉園は5年後なので、今後採用する嘱託職員と条件面で調整する。

委員	認定子ども園になった後、どれだけ持つかが問題だと思う。
委員長	あと10年ちょっとしたら危なくなる。
委員	10年後にどうするのか、という国のやり方に乗るのか。乗らざるを得ないから乗るのか。心配していたら何もできないのだが。
委員長	国の子ども園の制度設計を待った方がよいと考えていたが、震災によって、私の考え方は変わった。国や県から予算が下りてくるのかが不透明になった。中区にも加美区や八千代区と同様に潤沢な施設があるのが理想だが、町長や議会の方針として、子どもに手厚くすることがなければ難しい。中町幼稚園を閉園しようというのは既定路線なのか。
委員	既定路線でなく、事務局から案として出されている。
委員	現在中区になる私立保育所が認定子ども園になるということで、最初は、そのような体制がとれるかという不安があったが、認定子ども園化に前向きな姿勢を出されている。今後、子どもの数が減っていき、公立と私立の4園がうまくやっていける状況でないので、事務局の案がベターではないか。
副委員長	公立の幼稚園を閉園して、今、私立保育所に補助を入れても、20数年後に成り立っていくのか疑問。加美区と八千代区は1園なのに、中区だけ私立3園でやっていけるか不安が残る。また、私立保育所は各園で保育内容が異なっている。公立1園でなく3園を残すのが適切なのか危惧する。
委員長	中区で私立保育所に対して認定子ども園にする願いはできるが、それだけにとどまる。認定子ども園化が無理だったら、加美区と八千代区で受け入れることになる。10年後、3園がどうなるかは確定的でない。私立保育所が子ども達に対して責任を持ってくださるかは考えなくてはならない。
委員	副委員長がおっしゃったように、中区でも他の区と同様に、「キッズランドなか」を作りたいという気持ちもある。しかし、私立保育所で、つい最近に施設整備をされた所があるので、それは現実的に不可能と思う。現状でも、中区の子が加美区、八千代区の園に通ってもよいことになっている。
委員	多可町は区割りをしているので、(中区の子が加美区・八千代区の園に通うことは)地域の人々の心から離れているのではないかと思う。公立としては2園でも十分対応できると思う。
委員長	住民の皆さんの感情はどうか。
委員	出生数の低下は本当にこれで済むのか。去年の出生数は何人だったか。
事務局	多可町全体で127人、中区は67人。児童数の将来予測は、出生率中位、標準型の将来推計人口をもとに行っており、出生率の長期的な低下傾向が今後も緩やかに継続するという仮定のもと、長期的な社会移動の減少傾向が反映されるということを前提としている。
委員長	余計に出生数が減ってくるのではないか。中町幼稚園を閉園するという、今の流れは、多可町で社会移動を促進するのではないか。
委員	多可町のサービスは手厚い。中町幼稚園はいいと思うが、感情論で問題を片付ける時ではなく、財政的に厳しい現実がある。

委員長	われわれとしては、感情をも含めて答申したい。中町幼稚園を残せるものなら、残したいと思っている。何も考えずに結論を出したわけではないことを理解していただきたい。結果的に、3園にがんばってもらって、将来、これでよかったとなるようにもっていかなければならない。
委員	様子を見ながらやっていかないと、とんでもないことが起こりそうな気がする。今後、急激に出生率が下がった時に、小学校を統合したり、その中に幼稚園部を入れることを検討されないのか。
委員	小中学校の適正配置については、別の委員会で検討している。お金ではなく、子どもたちにとって望ましい教育と言う観点から検討している。その中では、幼稚園のことは検討していない。
事務局	私立保育所を認定子ども園化するにあたって、施設整備費のうち、園の負担部分は今後の収入から償還していくことになる。子どもがこれだけ減っていくのであれば、収入も減っていくことになり、受け入れる側のしんどさがあると思うのだが、どうか。
委員	今もおっしゃったように、3園に投資していつまで持つかと言う話もあるが、3園のまま存続できるかと言えばそうではない。これは中区だけの問題ではなく、全国的に同じ問題を抱えており、どこかがつぶれるのは仕方がない。私立3園にお金をつぎ込んでも、つぶれてしまう園があるかもしれないが、つぶれる前の何年かは公立でやるのか、私立でやるのかは町の財政的に全然ちがう。A保育所はすでに行った施設整備の償還があと20年残っており、それに認定子ども園化の整備をプラスするのは厳しい。 キッズランドかみはよい施設だが、町民として同じ保育料を払って、加美区に住んでいる子はいい施設を使えるのは不公平だと思う。
委員	仮に私が保育所の経営者だったら、国や県から補助がある。だったら、町はどうしてくれるの？という気持ちがわく。多可町内だったらどこでも同じサービスということだったら、町も民間保育所への補助があってしかるべきだと思う。
委員長	町が保証できるかどうか。私立保育所が改修できるかどうか。
委員	幼稚園は人的に手厚い。民間として精一杯やるが、民間保育所になってから人が減ったと言われると立つ瀬がない。民間保育所にもこれまでの公立幼稚園と同じ職員配置を考えてほしい。民間になると補助の形になると思うがしっかり考えてほしい。
委員	住民として、子どもが減っていくということは分かるが、どうすれば子どもを増やせるかという発想で考えてほしいと思う。
委員	多可町では各課横断的に少子化対策の会議を行っている。
委員	住宅のこともそうだが、町内の道路を走っていたら、もっと他のことで税金を使った方がいいのではないかと思うことが多い。孫さんのソーラー発電の誘致の話聞いたが、それが人口や子どもの増加につながればいいのだが・・・。 (多可町に住みたくなる人が)どうやったら増えるかということも考えてほし

	い。例えば、近隣では、医療費が中学生まで無料となっているところがあるが、多可町は小学3年生までしか無料になっていない。多可町が子どもを大事にしていく方向で考えているのか、減ってもかまわないと考えているのか分からなくなってきた。保育所については、3園の私立保育所が将来、2園になり、1園になってもよいと考えているのか。
委員	それは競争だが、町も私立だけにまかせきりというのではなく、今まで以上にサポートしないといけない。いい子が育つというのは町にとってもいいことだと思う。
委員	中区から加美区、八千代区の園に通うことは可能だが、逆に八千代区や加美区から中区の園に通ってもよいのか。
委員	通うことは可能。
委員	加東市で話を聞く機会があったが、お母さん方は常にアンテナをはりめぐらせているので、子育てしやすい町というイメージは大切と思う。中区の私立3園を充実させていかないといけない。
委員	経営を圧迫しない適正な園児の数はどれくらいか。
委員	私が考える適正人数は100人ぐらいがよいと思う。100人から60人までの施設が子どもと先生の顔が分かってよい規模ではないかと思う。それを下回るようだと考えないといけないと思う。
委員長	経営の視点から考えると、30人を切るのはありえないので、60人から100人が理想的で、そこに手厚い人員配置、研修をされるのが理想と思う。
委員	子どもが中区に住んでいるが、保育料は町内で一定なので、私なら5歳児でも自分の家の近くの園に通わせると思う。保育料が高かったら他にいくかもしれないが、そうではないので、仮に幼稚園がないからといって、中区に住んでいるのに加美区や八千代区の園に通わせるということはしないと思う。町は是非、私立保育所に支援していただきたい。町の支援の方法を考えてほしい。
委員	今の話とは関係ないが、資料について確認したい。資料P2の表で、「0・1・2歳児」の「保育に欠けない」が全て「×」(就園不能)となっているが、県独自の補助金があるのではないか。
事務局	たしかに、兵庫県独自の制度では、認定子ども園では3歳未満児で保育に欠けていなくても受け入れることができることになっている。資料P2の表を訂正する。「0・1・2歳児」の「保育に欠けない」のうち、「B4案」と「C1案」が「×」でなく、「 」となる。
委員	私は長年、中町幼稚園で勤務していたので、本当に悲しく、感情面が前面に出てしまう。よい子どもを育てていっても、多可町を好きな子を育てていっても、就職口がないので、その子ども達が町に残りたくても残れない。見通しが明るいのだったらよいが、中町幼稚園が閉園になるのだったら、これから先、幼児教育は本当にどうなるのだろうと思う。
委員長	中区における将来の諸施設の適正配置について協議してきたが、就学前教育・保育だけの問題だけでなく、社会全体の流れ、町の産業構造、ひいては限界集落の問題

	<p>などさまざまな問題と関係している。都市から離れていなければ、もしかすると、ここまでならなかったかもしれない。</p> <p>その中で、今後の就学前教育・保育の質の向上を目指すとともに、閉園の時期は確定せず、括弧つきにしたい。閉園の準備ができるという前提で模索する。また、A保育所に20年の償還が残っている中で、具体的にどのような支援をするのか細かく決めていただきたい。</p>
委員	解決する方法を答申に具体的に盛り込む必要があるのではないかと思う。
委員長	私立保育所を認定子ども園化する中で、預かり保育は期限をきって、廃止とする。2～3年で5歳の子ども行き先を見て閉園の時期を決める。それぞれの園の現状に応じて支援策を検討願いたい。具体的には、人員配置、小学校との連携への支援策を検討していただく。次回、修正してまとめさせていただく。
委員長	子育て支援のあり方について事務局から説明願いたい。
事務局	(会議資料P6～P14に基づき、事務局案を提案。)
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委員	PRは十分にできていると思う。PRも大事だが、連携を大切にしてほしい。
委員長	PRについては事務局案を訂正すること。具体的には、どことの連携か。
委員	民生児童委員、家庭相談員、園との連携。加美区ではできていると思う。
副委員長	出前講座などがあったのではないか。
委員	以前は公民館に出かけていたが、今は、「おでかけ広場」として一本化している。
委員長	関係機関と連携する機会はないのか。
委員	過去に1度だけ「ネットワーク会議」を行ったことがある。必要があればその都度行いたい。
委員長	チャンネルがあって必要な時につなげられるようにしておいた方がよい。具体的に検討する場があった方がよいのではないか。
事務局	社会教育ネットワークというものがあつた。
委員長	医療や小学校など本当につながらないといけない所とつながっていない。病院、出産施設、園、小学校とチャンネルを持つためのネットワーク形成を検討する。子どもが生まれる前からサポートし、相互性があつた方がよい。
委員	滋賀県に進んでいる所があつたと思う。
委員長	滋賀県は全体的に特別支援が進んでおり、移り住む人が多い。
委員	保育所の立場からすると、所管課が教育委員会に移り、上とのつながりができたが、下とのつながりが切れてしまったように感じる。例えば、入園の際に、特別児童の情報が入ってこない。個人情報の問題が難しく、同じ課内だったら話ができていたが、保護者の了解がなかったら話せなくなっている。他市町ならば入園の際に保健師が立ち会ってもらえるが、そのような面で感じられる。
委員	稲美町では教育委員会にも保健師がいるが、多可町にはいない。保健師がいて情報をつかんだ上で、入所させている。教育委員会も保健師を配置することを答申に盛り込んでいただきたい。
委員長	意識的につなげる、関係性を築いていくことが必要。

委員	「子育てネット（仮称）」とは何か。
事務局	利用者に登録いただいて情報発信をするもの。タイムリーな情報発信ができるものを整備する。
委員	それぞれの園で持っているもので、町全体の情報も発信できるようになればよいと思う。
委員長	今後、子育て支援の連携をすすめるよう検討することを答申に盛り込む。事務局には次回までに答申(案)を修正したものを送付いただきたい。
事務局	次回は8月2日(火)15時から、場所は中央公民館小会議室に変更、協議内容は答申(案)について。